

# 新居浜市の概要

新居浜市は、四国のほぼ中北部に位置し、東は四国中央市、西は西条市、北は瀬戸内海の燧灘に面し、南は四国山地境として高知県境に接しています。

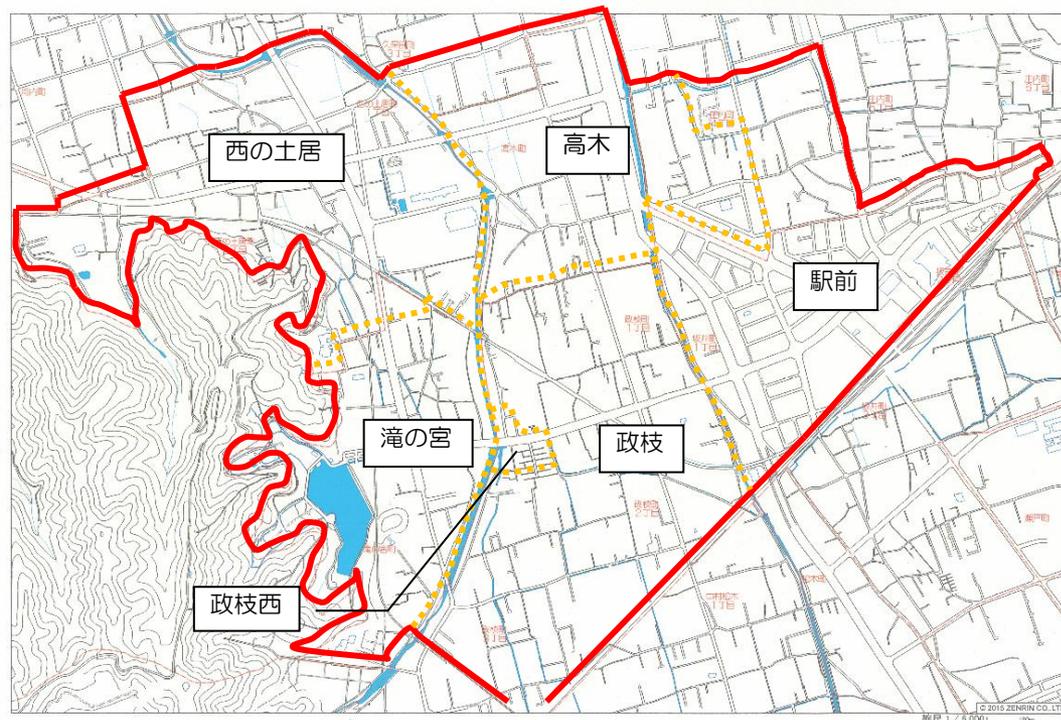
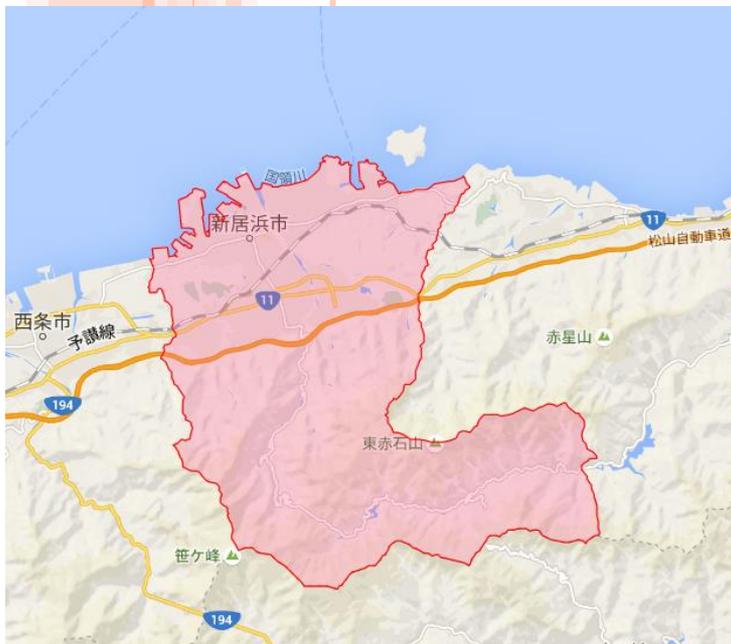
概	要	新居浜市	金栄校区
面	積	234.46km <sup>2</sup>	2.592km <sup>2</sup>
人	口	122,347人	5,687人
世	帯	57,220世帯	2,636世帯
高	齢	29.9%	26.7%
地域自然特性		最大震度：7 最高津波水位：3.4m	液状化現象可能性有り 洪水の危険大
地域社会特性		高齢化率：高い(市：29.9%) (県：28.7%・国：26.7%)	5歳未満人口 (全国平均より高い)
想定される災害		地震・津波 土砂災害 河川越水 ため池決壊	地震(最大震度：6強) 土砂災害 河川越水 ため池決壊

# 新居浜市の概要



新居浜市は、四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置する人口約12万3千人の都市です。

元禄4年(1691年)の別子銅山開坑によって繁栄し、沿岸地帯は工場群が帯状に形成され四国屈指の臨海工業都市となっています。



# 災害発生時の課題

災害時に地域で起こる課題、対応策、過去に発生した災害についてまちあるきや防災訓練を通じて地域を確認し、危険箇所、地域の現状を確認



過去に被害にあった場所を地図上で確認



まちあるきを通じて被災箇所、地形などを確認



地域防災訓練にて防災力の向上を図る



地域の資源(防災資機材)を確認

# 災害時の課題と対策

「防災マップづくり」「地区防災計画ワークショップ」を通じて議論した災害時に地域で起こりうる、課題と必要な対策を踏まえ、地区防災計画を作成

☆校区及び単位自治会ごとの中長期的な防災活動計画を策定し、**3世代交流**のもと防災活動を実施していく。



愛媛県新居浜市  
金栄校区地区防災計画  
自分たちの地域は自分たちで守る



平成28年2月

## <目次>

- 1 総則
- 2 金栄校区の概要
- 3 地域特性
- 4 地域の課題
- 5 地域の課題の現状と対策
- 6 防災活動内容
- 7 課題及び対策の対応
- 8 防災意識の普及啓発
- 9 防災活動計画

